

令和6年度 学校経営方針

1 学校経営の基本方針

日本国憲法の精神に則り、教育基本法及び学校教育法に示されている人格の完成を目指す初等教育の充実・完遂を期すために、学習指導要領、岩手県学校教育指導指針並びに金ケ崎町学校教育行政の基本指針と重点を受け、地域、保護者との連携のもと、社会の変化に主体的に対応し、たくましく、心豊かに生き抜く児童の育成のため、本校の教育目標を次のように設定する。

2 学校教育目標

西小学校の歴史と伝統を踏まえ、調和のとれた人間性豊かな児童の育成を図るため、学校教育目標を次のように定める。

(1) 総合目標

心身ともに健康で、人間性豊かな子どもの育成

(2) 具体目標

ア 自ら学び 考える子（知）

（ア）話をしっかりと聞く子

（イ）よく考えて話す子

（ウ）目標をもって学習する子

イ 思いやりがあり がんばる子（徳）

（ア）あいさつ・返事がはっきりとできる子

（イ）最後までやりきる子

（ウ）協力して活動する子

ウ 元気で たくましい子（体）

（ア）進んで運動する子

（イ）健康な体を大切にする子

（ウ）安全に生活する子

(3) 目指す学校の姿

ア 一人一人の児童が人間として尊重され、大切にされる学校

イ 心を育て、体を鍛え、確かな学力を高める学校

ウ 学校教育目標の実現に向かって、全教職員が一丸となり努力する学校

エ 保護者・地域から信頼される学校

(4) 目指す教職員の姿

「教育は人なり」と言われる。教育者としての使命感、児童に対する深い愛情、専門職としての幅広い識見と豊かな人間性をもつ教職員となるよう、職責の自覚及び職能の研鑽に努める。

- ア 児童への深い愛情をもち、共に歩む教職員
- イ 教育への使命感をもち、情熱のある教職員
- ウ 児童や保護者・地域に信頼される、明るい教職員
- エ 研修に努め、豊かな実践力のある教職員
- オ 広い心をもち、人間性豊かで同僚性のある教職員

3 経営の方針

学校経営の中心は児童である。「児童のために学校はある」ことを経営の根底に据える。そのうえで、未来社会に生きる心豊かでたくましい人間を育てることの意義を認識し、「知」「徳」「体」の調和のとれた心身ともに健康な児童の育成を期して、清新で創造的な活力のある学校経営に努める。また、児童及び地域の実態に応じて、「郷土を愛し、その復興・発展を支える人材を育成する」という復興教育の視点を取り入れながら、家庭や地域と連携・協働し、目標達成型の学校経営を展開する。

- (1) 児童に「生きる力」をはぐくむことを目指して創意ある教育課程を編成し、地域に根ざした特色ある教育活動を推進する。
- (2) 児童一人一人に、基礎的・基本的な知識及び技能と思考力・判断力・表現力等を身に付けさせ、主体的に学習に取り組む態度をはぐくむための授業改善、指導法の工夫に取り組む。
- (3) 教育活動全体を通し、地域社会との豊かなかかわりをもった体験を充実させ、児童の感性と道徳性をはぐくむ。
- (4) 児童の心身の健康の保持増進及び安全確保に万全を期し、健康教育・食育、防災・復興教育の充実に努める。
- (5) 家庭・地域との連携・協働による教育を推進するため、学校運営協議会（コミュニティスクール）を核とする、開かれた学校づくりに努める。

4 経営の重点

(1) 児童の実態に応じた適切な教育課程の編成と地域に根ざした特色ある教育活動の推進

ア 「郷土を愛し、その復興・発展を支える人材を育成する」という復興教育の視点を取り入れながら教育活動を推進し、「生きる力」をはぐくむ人間関係づくり、学校環境づくりを目指す。

イ 家庭や地域の教育力を積極的に活用し、地域のよさ（地域の自然や文化、人々等）を見つめさせ、地域とのかかわりや交流の中で価値ある体験活動を推進する。

ウ 特別支援教育を教育の原点としてとらえ、支援を要する児童への対応を全体で研修・共通理解し、学校教育全般で特別支援教育を推進する。

エ 教職員の共通理解と支え合いの精神、同僚性の構築を基盤に、創造的な校務分掌の遂行に努める。

(2) 主体的に学習に取り組む態度をはぐくむための授業改善

ア 児童に確かな学力を保障するため、学習指導要領の趣旨を踏まえながら授業改善に努め、「わかる授業」の確立を目指す。そのために、全学年における ICT（タブレット端末）の積極活用、板書の工夫、ノート指導の工夫、指導目標達成の確認の位置付け等を行い、児童に「わかった、できた」という実感を与える指導を行う。

イ 自分の思いを伝え合うことにより他者の考えや思いを理解し、多様な人々との協働により、自分の考えを広げ深める学びを身に付けさせる（児童が学びを実感できる学習活動の工夫）。

ウ 授業と連動した家庭学習を推進し、主体的に学習に取り組む態度をはぐくむ（児童一人一人のよさを認めることによる学習意欲の喚起、家庭学習時間の充実確保、タブレット端末の有効活用、家庭からの励まし協力、家庭学習取組強化期間の充実と工夫、ノーメディアの取組）。

エ 学校全体における言語活動の整備を推進し、教育活動全体を通して言語活動の充実を図る。

(3) 心豊かでたくましい児童の育成

ア 教育活動全体を通して、様々な体験活動を意図的・計画的に実施し、「ひと・もの・こと」との出会いにより児童の心をたがやす（日常的な異学年交流をねらいとした清掃・登下校・遊び等の縦割班活動の充実）。また、他者との好ましい人間関係を築く中で、自分を知り、長所を伸ばそうとする意識を持つようにするなど、キャリア教育の充実も図る。

イ 場に応じた明るく元気なあいさつ、家庭や学校・地域における相手を思いやる言葉遣いや、公共のルール・マナーを守る行動ができる児童を育て、笑顔のあふれる学校を創造する（児童自らが主体となったあいさつ運動の実践、スマイル言葉の推奨等）。

ウ 家庭で取り組む読書活動の充実、道徳教育の要としての道徳の時間の充実を図る。

(4) 心身の健康や食に関心をもち、進んで体力づくりに取り組む児童の育成

ア 基本的な生活習慣の育成を図る（「早寝・早起き・朝ごはん」等）。

イ 体育科の授業と連動させながら、目標をもって継続的に行う活動（マラソン・なわとび）を充実させるとともに、休み時間の外遊びや異学年交流を推奨し体力の向上を図る。

ウ 保健・安全指導、食育指導、清掃指導の充実により予防的生徒指導との連携を図る。

エ 家庭・地域と連動しながら実情に合った防災教育を見直し、工夫・改善を図る。

(5) 家庭・地域との連動・協働、開かれた学校づくりの推進

ア 「西小まなびフェスト」を通し、家庭や地域との連携を強化する。

イ 家庭の教育力の向上のための啓発活動に努める（PTA 活動との連携）。

ウ 学校評価及びアンケート結果を保護者・地域と共有し、学校経営の改善に努める。

エ 各種通信等による身近で新鮮な情報の発信を通し、家庭・地域との連携に努める。

オ 学校運営協議会を核とする、開かれた学校づくりに努める。

学校教育目標	学校で重点的に取り組むこと	家庭で心がけること	子どもたちががんばること	
心身ともに健康で人間性豊かな子どもの育成	自ら学び考える子	<p>1 基礎・基本をしっかり身に付け、主体的に学習に取り組む子どもに育てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年で習う漢字や計算の確実な習得 	<p>○子どものノートを見て、学習の様子を確かめます。</p> <p>○筆箱など学習用具の様子を見ます。</p>	<p>☆授業のあいさつ、返事をしっかりとします。</p> <p>☆自分の考えを積極的に発表します。</p>
	<p>2 毎日、進んで家庭学習に取り組む子どもに育てます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【家庭学習の目標時間】（「学年×10分+10分」以上）</p> <ul style="list-style-type: none"> ★1学年：20分以上 ★2学年：30分以上 ★3学年：40分以上 ★4学年：50分以上 ★5学年：60分以上 ★6学年：70分以上 </div>	<p>○子どもの宿題や一人勉強ノートを見て、家庭学習の様子を確かめます。</p> <p>○メディア(テレビゲーム機-スマホ等)と接する時間を制限し、集中して学習する環境を作ります。</p>	<p>☆毎日、進んで家庭学習に取り組めます。</p> <p>☆メディアと接する時間を守ります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>平日:2時間以内 土日祝:3時間以内</p> </div>	
	思いやりがあらがな子	<p>3 様々な読書体験を楽しむ子どもに育てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すきま読書の推進 ・朝読書の充実 ・家庭読書の習慣づくり <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【各学年の読書目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★1学年：100冊以上 ★2学年：80冊以上 ★3学年：60冊以上 ★4学年：40冊以上 ★5・6年：6,000ページ以上 </div>	<p>○子どもの読書の環境を整えます。</p>	<p>☆進んで読書をしします。</p> <p>☆家でも時間を見つけて読書をしします。</p>
	<p>4 相手を思いやる言動ができる子どもに育てます。</p>	<p>○家族みんなで相手を思いやる言葉を使います。</p>	<p>☆相手を思いやる言葉を誰にでも使います。</p>	
	<p>5 いつも明るく元気なあいさつができる子どもに育てます。</p>	<p>○家庭でも積極的にあいさつをし合います。</p>	<p>☆誰にでも進んであいさつをしします。</p>	
	元気でたくましい子	<p>6 進んで健康づくりに取り組む子どもに育てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早寝・早起き・朝ごはん等を中心とした正しい生活リズムの確立 	<p>○家族みんなで「早寝・早起き・朝ごはん」に取り組めます。</p> <p>○丁寧に歯をみがく習慣をつけます。</p> <p>○バランスよく食べられるよう、声がけします。</p>	<p>☆進んで「早寝・早起き・朝ごはん」に取り組めます。</p> <p>☆丁寧に歯をみがきます。</p> <p>☆食事はバランスよく食べます。</p>
<p>7 めあてをもって体力づくりに取り組む子どもに育てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マラソン、なわとび、水泳学習への挑戦 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【発達段階に応じた（1回の）マラソンの挑戦目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★1・2学年：3周以上 ★3・4・5・6学年：4周以上 <p>【発達段階に応じたなわとび（持久とび）の挑戦目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★1・2学年：1分以上 ★3・4学年：2分以上 ★5・6学年：3分以上 <p>【発達段階に応じた水泳学習の挑戦目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★1-2学年：水中で歩いたり走ったりできる。 水にもぐったり浮いたりできる。 ★3-4学年：け伸びで5m以上進むことができる。 面かぶりクロールで1.25m以上泳ぐことができる。 ★5-6学年：クロールで25～50m程度泳ぐことができる。 平泳ぎで25m程度泳ぐことができる。 </div>	<p>○子どもが自分の目標達成に向けて頑張ったときは、ほめてあげます。</p>	<p>☆自分のめあてをもって、マラソン、なわとび、水泳学習に取り組めます。</p>		

